

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」戸田校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	・1対1の支援の為、スペースが十分確保できるようボードやパーテーション等で環境設定を行っている。	
	②	職員の配置数は適切である	5	0	・現在、最低限の人数は揃っている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	0	5	・階段や段差がある為、声掛けなどを行い安全に配慮は行っている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	・日々清掃を行い環境整備に努め、必要に応じてパーテーションを置くなどの設定を行っている。	・お子様やその時々々の場面に応じて、整理整頓を行い環境整備に努めていく。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	1	・日々の中で、できる限り話し合う場を設けて、次の支援に活かしている。	・記録や支援で話し合う時間が確保できない時は、LINEなどのツールを用い情報共有を行うよう継続して努めていく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	・保護者が話しやすいような環境づくりに努めている。	・FBや個別の相談にて出てきた要望などについて、支援にて反映できるよう引き続き努めていく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	・年に一度実施している。	・随時、事業所ホームページに公開。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	0	・現在、利用者、社内、財団法人発達支援研究所の3者評価となっている。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	・内部では月に一度は設けられている。	・外部についても、必要に応じて参加をしていくように努めていく。
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	・6ヶ月に1回は、保護者から聞き取りを行い、指導員からも意見を聞き作成を行っている。	・指導員間でも、情報共有を引き続き継続して行っていく。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	事業所共通のツールを利用している。	・

提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	・保護者からの要望や児童の状況に合わせ、適宜、支援内容を変更していくように努めている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	・支援計画に沿って実施している。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	・子どもの成果に対し、アプローチの仕方の意見を出し合い教材の工夫などを行っている。	・共通理解が必要なこともあるため、随時相談しながら進めていくことを継続していく。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	・保護者からの要望だけでなく、職員間でも話し合いながら行うように努めている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5	0	・基本的には1対1での実施になるが、子どもの状況に応じて集団でも実施するよう努めている。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	・朝礼を行い、確認するよう努めている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	・その日に行えない時でも、次の支援前までには行うよう留意して情報共有を行っている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	・毎回、支援記録の記載を行うとともに特記事項があれば社内ツールのチャットなどを利用して改善に努めている。	
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	・最低でも6ヶ月に1回は行うよう努めている。	
	関 係 機 関 や 保 護	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1	・事前に情報確認や把握を行い、できるだけふさわしい人物が対応するように努めている。
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1	・保護者の要望に応じ幼稚園、保育園などの関係機関と連携を実施している。	

者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	5	・医療的ケアが必要なお子様が通所していない。	・該当児童がいない為、未実施。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	5	・医療的ケアが必要なお子様が通所していない。	・該当児童がいない為、未実施。
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2	・保護者からの要望に応じて保育園など関係機関と情報共有を行っている。	
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2		・保護者や関係機関から要望があれば連携を行えるように努めていく。
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	・現在のところ機会が少ないが、今後情報共有する機会を設けていく。	
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	5	・事業所以外での交流が現在のところない。	
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	5	・現在、コロナ化の為、年に一度行われる地域での協議会が開催されていないが復帰した際には参加していく。	
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	・毎回のFBや相談のあった際に、共通理解できるよう努めている。	
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	5	・FBや相談時、都度質問に対して必要な助言を行うよう努めている。	
保護者への説明責任等	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	・契約時や変更があった際、適宜行っている。	
	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	・保護者からの情報を基に支援計画を作成している。作成後、説明して同意を得ている。	
	㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	・毎回のFBや随時相談があった際に、周りの状況に応じて環境に配慮しながら対応を行っている。	

	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5	・現在、実施できていないが、今後取り組めるように動いていく。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	・教室内で窓口を設定したり、申し入れがあった場合は丁寧に対応できるように努めている。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	・ブログや教室内にチラシを掲示したり、LINEなどのツールを活用して発信を行っている。	・
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	・鍵のかかるロッカーにしまい対応している。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	・お子様に合わせた伝え方やニーズの確認を行っている。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5	・現在、地域住民の参加は行っていない。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0	・訓練は、月に1回実施している。	・マニュアル作成と訓練は実施しているが、保護者への周知が弱いいため、アナウンスもしっかりできるように努めていく。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	・月に1回実施している。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	1	・面談や契約時に確認するよう努めている。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	4	・現在、食事提供を行っていない。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	・ヒヤリハット用ファイルを作成し、職員全員で共有に努めている。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	・マニュアルを策定し、研修を実施している。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	・契約時に説明を行っており、現在は必要に応じて支援計画書にも記載をしている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」 戸田校

保護者等数（児童数）：10 回収数：9 割合：90%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	4	0	0	・利用者が多い時は、手狭で混みあっている。	・物理的に広げることが難しいのですが、引き続き込み合った時も衝突などがないよう気を付けて対応を行っていくように努めています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	0	0	1		・法令で必要とされている配置数、資格を持った職員の配置を致しております。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	2	0	2		・物理的な所で、バリアフリーが難しい部分はありますが、お子様の特性や状態に応じて配慮を行っていくように努めています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	0	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	7	1	0	1		・引き続きニーズの聞き取りを行っていきます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	1	0	3		・保護者様からの要望やお子様の状況に応じて、適宜、支援内容を設定しなおすように努めています。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8	0	0	1		・同じ内容であっても、興味が持てるようプログラムの見直しを行っていきます。
	⑨	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	1	2	6		・通所という限られた支援時間の中での実施が難しい事から、現在行っていません。

保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	0	0	1		・
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	7	0	0	2		・
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	2	1	4	・まだ受けていないので分かりません。	・ペアレントトレーニングは行っていませんが、事業所内相談支援などで個別にお話しさせていただきよう心掛けています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8	1	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	1	0	1	・療育終了後に話す機会がある。	・引き続き FB 時も含めて対応を行えるように努めています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	0	3	6	・参加したことがないので分かりません。	・現在は行っておりませんが、今後検討していきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8	0	0	1		・日ごろの通所時だけでなく、LINE や電話などでご相談を随時受け付けております。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	0	0	2		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3	0	1	5		・お子様の作品などを定期的にブログなどにあげて発信を行っています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	6	0	0	3		・引き続き、個人情報の保管方法は漏洩がないよう安全に関して意識を高く持ち運営していきます。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4	0	0	5		・避難訓練は、毎月実施しております。実施前と実施後の周知方法の工夫に努めています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	0	0	7		・避難時の訓練の様子や周知の方法を工夫できるように努めています。

満足度	㉔	子どもは通所を楽しみにしているか	8	1	0	0	・通う途中も楽しそうにしています。	・ありがとうございます。引き続き楽しいと感じていただけるよう対応を行わせていただきます。
	㉕	事業所の支援に満足しているか	7	0	0	2		・引き続き、保護者様とお子様の成長の手助けに寄り添えるように努めていきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。